

上田市文化財調査報告書第90集

市内遺跡

平成13年度市内遺跡発掘調査報告書

2002. 3

上 田 市
上田市教育委員会

上田市文化財調査報告書第90集

市内遺跡

平成13年度市内遺跡発掘調査報告書

2002. 3

上 田 市
上田市教育委員会

例 言

- 1 本書は、長野県上田市における各種開発事業に伴う平成13年度市内遺跡発掘調査報告書である。
- 2 調査は、国庫補助事業・県補助事業として、上田市（上田市教育委員会事務局生涯学習課文化財係）が実施した。
- 3 現地調査は、生涯学習課文化財係尾見智志が行った。
- 4 現地調査は、主としてバックホーによるトレンチ調査で行った。バックホーの貸借・運転については、和農興・竹内和好が行った。
- 5 本調査に係る資料は、上田市立信濃国分寺資料館に保管してある。
- 6 本調査にあたり、開発施工主・担当課に調査実施に係る調整等、格段の御協力をいただいた。
- 7 本調査に係る事務局の体制は次のとおりである。

教 育 長	我妻 忠夫
教 育 次 長	内藤 政則
生 涯 学 習 課 長	塩野崎 利英
文 化 財 係 長	細川 修
文 化 財 係	中沢徳士・尾見智志・塩崎幸夫・久保田敦子

- 8 本書作成に係る作業は次のとおり分担して行った。

現 地 調 査	尾見
整 理 作 業	鹿島すみ江、村田直子
遺 物 写 真	尾見
本 書 執 筆 ・ 編 集	尾見

< 目 次 >

(1) 太田遺跡 (店舗建設)	2
(2) 内堀居館跡 (市営住宅建設)	4
(3) 久保・山崎遺跡 (地方特定農道緊急整備事業)	6
(4) 南在家遺跡 (五加35号線建設工事)	8
(5) 上田原遺跡群 (体育館建設事業)	12
(6) 染屋台条里水田跡遺跡 (共同住宅)	14
(7) 染屋台条里水田跡遺跡 (共同住宅)	16
遺物観察表	18
平成13年度試掘調査地点位置図	19
報告書抄録	22
写真図版	23

(1) 太田遺跡

1 調査地	上田市大字神畑字太田
2 原因	店舗建設
3 調査日	平成13年6月11日
4 調査方法	幅約1mのトレンチを8本入れる
5 調査担当者	尾見智志

遺跡の環境と経過

太田遺跡は、上田市の埋蔵文化財分布図によると、弥生土器の散布する包蔵地として知られていた。

平成11年3月にショッピングセンターの開発計画に先立ち試掘調査を行ったところ調査区域東側の自然堤防上に堅穴住居等の遺構の存在が確認された。その後、この計画は中止となったが、平成13年5月に新たに建設設計事務所からパチンコ店の建設の計画の相談を受けた。計画図面から、平成11年に試掘調査を行わなかった地域にまで開発が及ぶことを確認し、未調査地区の試掘調査の準備に取りかかった。試掘調査は平成13年6月6日と11日に行った。試掘調査の結果、開発計画区域内（建物建設予定地）には遺構は確認されなかった。

調査の結果

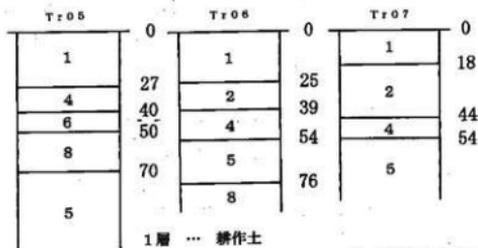
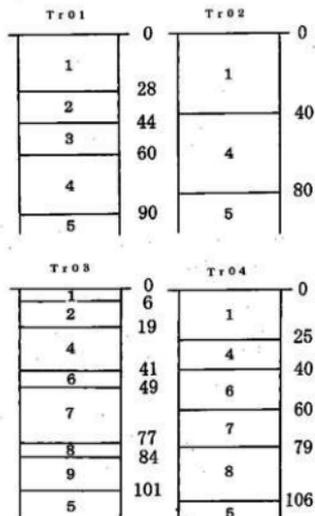
Tr 01から08の8本のトレンチを設定し試掘調査を行った。いずれのトレンチも土層の堆積状況から河川の氾濫等による土砂の堆積を示しており、少量の遺物は確認できるものの、明確な遺構は確認できなかった。これらの遺物は、当該調査地の東側で前回の試掘調査によって堅穴住居を確認できていることから、この地区からの流れ込みであると考えられる。

主な出土遺物は次のとおりである。

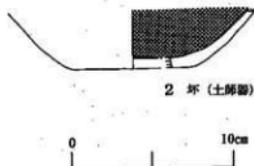
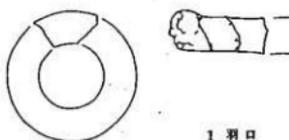
- Tr 01 (箱清水式土器の破片)
- Tr 04 (土師器及び羽口の破片)
- Tr 07 (箱清水式土器、土師器、灰釉陶器の破片)
- Tr 08 (土師器、須恵器、青磁の破片)



基本土層



- 1層 ... 耕作土
- 2層 ... 灰白色土層 (シルト質・黄褐色土を含む)
- 3層 ... 暗黒褐色土層 (シルト質・炭化物を含む)
- 4層 ... 黄灰褐色土層 (砂質)
- 5層 ... 灰褐色土層 (砂質)
- 6層 ... 灰褐色土層 (砂質)
- 7層 ... 茶褐色土層 (砂質)
- 8層 ... 黒茶褐色土層 (砂質)
- 9層 ... 砂礫層



第1図 太田遺跡

(2) 内堀居館跡

- | | |
|---------|-----------------|
| 1 調査地 | 上田市大字五加字内堀 |
| 2 原因 | 市営住宅建替 |
| 3 調査日 | 平成13年8月24日 |
| 4 調査方法 | 幅約1mのトレンチを8本入れる |
| 5 調査担当者 | 尾見智志 |

遺跡の環境と経過

「上田市の原始・古代文化」によると、「(前略) 産川西岸にあり、およそ10,000㎡にわたって、弥生後期の箱清水式、後・晩期の土師・須恵器を出土する。」とし、「この台地の周囲には堀がめぐらされ(中略) 居館跡の存在が推定される。」としている。

市営内堀団地は計画的に建替えが行われているところであるが、平成13年度は市営住宅及び台地上の一部分に道路及び集会所の建設を行うこととなった。試掘調査は、旧市営住宅の取り壊しを待って平成13年8月24日に行った。その結果、台地上には堅穴住居の痕跡が認められただけで遺跡は破壊されていることが確認された。また、居館跡としての遺構・遺物も確認されなかった。

調査の結果

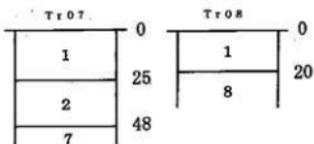
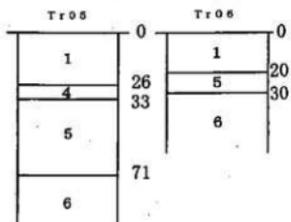
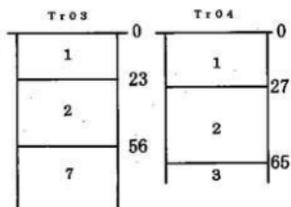
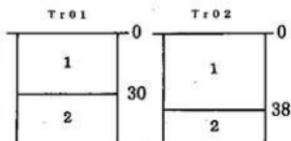
Tr01から08の8本のトレンチを設定し試掘調査を行った。Tr01からTr06は台地上の部分であったが団地の造成時やそれ以前の畑地であった時の攪乱を受けており遺物は散見されるが遺構は破壊されていた。Tr05・06では焼土及び黒褐色土層が確認されたため焼土検出地点を中心に精査を行った。その結果、黒褐色土層の上層に砂層があることと黒褐色土層の下層に泥層があることから、かつて産川であった部分に泥や砂礫が堆積してきた部分であり、台地の高さから遺構は砂層或いは砂礫層を掘りこんでなければならないことがわかった。従って、この黒褐色土層は遺構及び包含層ではないことがわかった。また、検出された焼土は破壊された堅穴住居の地床炉の痕跡であることがわかった。Tr07は台地を削平しており遺構は確認されなかった。Tr08は産川の河原にあたり遺構・遺物は確認されなかった。

主な出土遺物は次のとおりである。

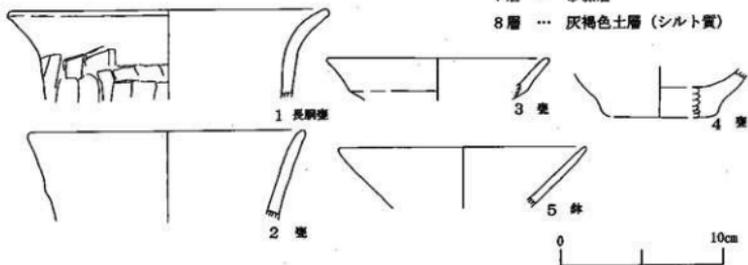
- Tr04 (土師器の破片)
- Tr05 (土師器の破片)
- Tr06 (土師器の破片)
- Tr07 (土師器の破片)



基本土層



- 1層 … 表土
- 2層 … 黄茶褐色土層 (シルト質)
- 3層 … 茶褐色土層 (シルト質)
- 4層 … 砂層
- 5層 … 暗黒褐色土層 (シルト質)
- 6層 … 黒茶褐色土層 (シルト質)
- 7層 … 砂礫層
- 8層 … 灰褐色土層 (シルト質)



第2図 内堀居館跡

(3) 久保・山崎遺跡

1 調査地	上田市大字岡字久保、山崎
2 原因	道路建設
3 調査日	平成13年10月27日
4 調査方法	幅約1mのトレンチを8本入れる
5 調査担当者	尾見智志

遺跡の環境と経過

「上田市の原始・古代文化」によると、久保遺跡は「浦野川左岸の岡集落東南端の台地上にあり、およそ3,000㎡にわたって、中・後期の土師器が出土する。」とし、山崎遺跡については1980年にその一部を構造改善事業に先立ち発掘調査を行った。その結果、奈良・平安時代の堅穴住居を3件ほど確認している。

平成13年9月に現地立ち会いを行い、工事計画範囲を確認し、試掘の準備に取りかかった。平成13年10月27日に試掘調査を行ったが、遺構は確認できなかった。

調査の結果

Tr01から08の8本のトレンチを設定し試掘調査を行った。Tr01・02・03・05・06・07については、浦野川の氾濫原であることとほ場整備の影響から土が動いており、遺構・遺物の確認がほとんどできなかった。Tr04についても、小段丘上に位置しているが遺構・遺物は確認できなかった。Tr08は河岸段丘上に位置しており、地表面からは土器片が採集されることから遺構の存在が懸念された。しかし、地中からは遺構及び包含層は確認されなかった。段丘先端部のため、地表面に散布している遺物は遺跡主体部からの流れ込みと判断せざるを得ない。

主な出土遺物は次のとおりである。

Tr01 (須恵器の破片)

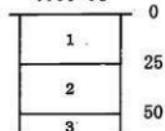
Tr04 (須恵器の破片)

Tr08 (縄文土器、土師器の破片)

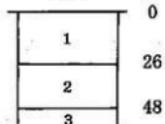


基本土層

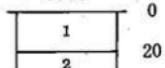
Tr 01-02



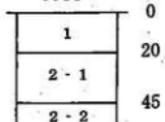
Tr.03



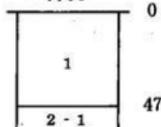
Tr 04



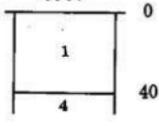
Tr 05



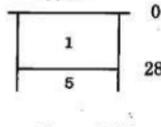
Tr 06



Tr 07



Tr 08



- 1層 ... 耕作土
- 2層 ... 黄褐色土層 (小石が混じる・粘性が強い)
- 2-1層 ... 黄褐色土層 (粘性が強い)
- 2-2層 ... 黄褐色土層 (小石が混じる)
- 3層 ... 砂礫層
- 4層 ... 灰褐色土層 (砂質)
- 5層 ... 黒茶褐色土層 (シルト質む)
- 6層 ... 灰黒褐色土層

第3図 久保・山崎遺跡

(4) 南在家遺跡

- | | |
|---------|-----------------|
| 1 調査地 | 上田市大字五加字西平 |
| 2 原因 | 道路建設 |
| 3 調査日 | 平成13年12月6日、7日 |
| 4 調査方法 | 幅約1mのトレンチを1本入れる |
| 5 調査担当者 | 尾見智志 |

遺跡の環境と経過

「上田市の原始・古代文化」によると、「五加前池の西方集落内にあり、分布範囲は明らかではないが、縄文期の打製石斧・弥生後期の箱清水式、後期の土師・須恵器を出土している。」としている。

平成13年9月に現地調査を行い、当該地区が遺跡の範囲内に含まれることを確認した。平成13年12月6日に試掘調査を行い、1軒の竪穴住居が存在することを確認した。遺構が確認された場所は当該地区の東端であることから、竪穴住居の検出地点を中心に調査範囲を広げてみた。しかし、他には遺構は確認できなかったため、平成13年12月7日に試掘調査の中でこの竪穴住居を掘り上げて終了とした。

調査の結果

東西に長いトレンチ（Tr01）を設定し試掘調査を行った。トレンチのほぼ中央から西側は黒褐色土層に覆われていたため一部を深く掘り下げた。その土層の堆積状況から旧産川の支流と思われる河川或いは淵の跡であることが確認された。地元の人の話によるとこの旧河川は大川と呼ばれているとのことであった。また、トレンチの東端からは砂礫層に掘り込まれて竪穴住居が1軒確認された。この竪穴住居は調査範囲外へと広がっており、半分ほどが検出できたのみであった。このことから、当該住居は遺跡の西端に位置するものと考えられる。

主な出土遺物は次のとおりである。

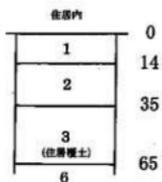
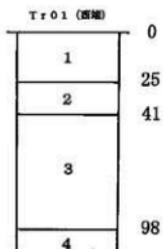
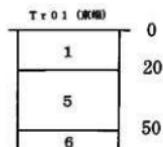
Tr01（縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器の破片）

遺構・遺物

当該試掘において、竪穴住居が1軒のみ確認された。この竪穴住居は、主軸がほぼ南北を通っており、調査した部分は住居の北側半分となる。平面プランは比較的しっかりとした方形を呈すると思われる。北壁沿いのほぼ中央部にカマドをもつ。カマドの構築材は硬質砂岩であった。遺物はカマドの周辺を中心に土器が出土した。出土土器は8世紀第3四半期のものが中心となり奈良時代後半に属するものと考えられる。

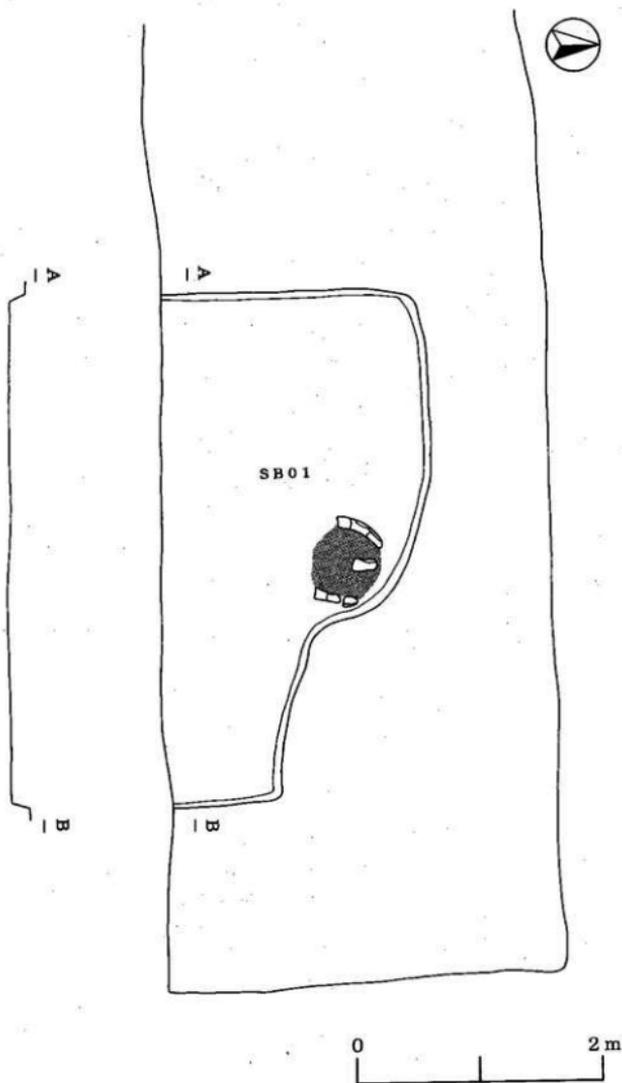


基本土層

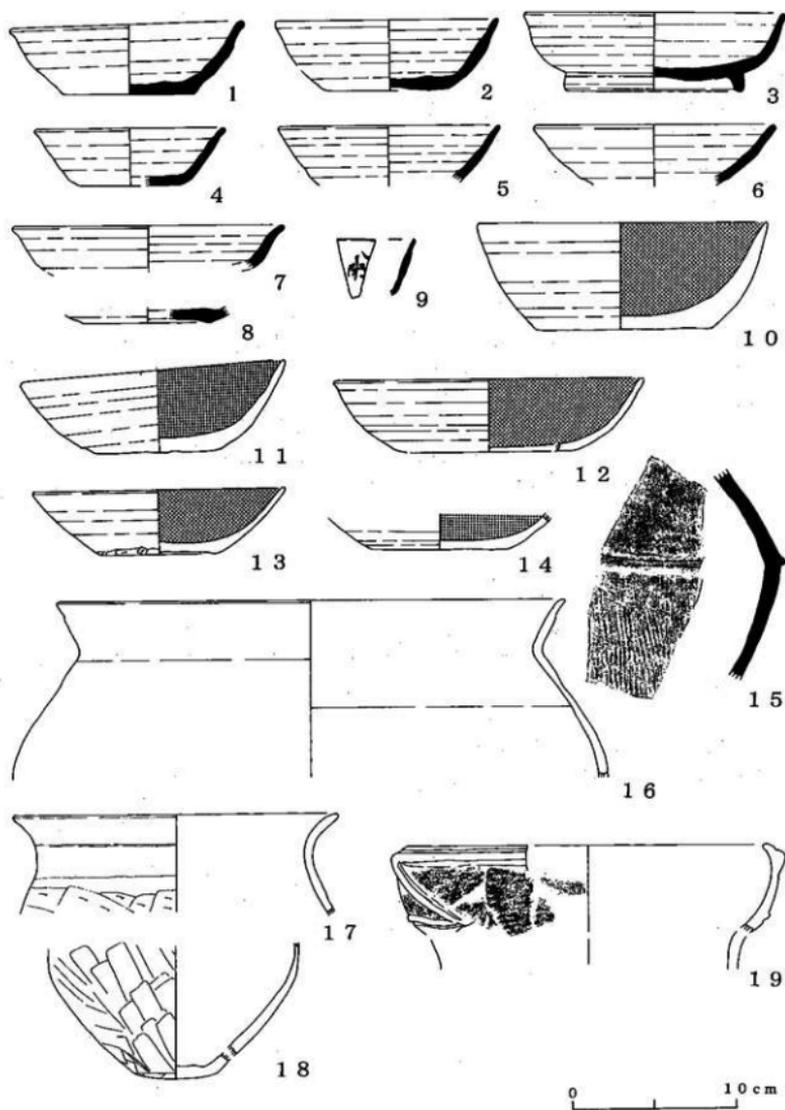


- 1層 … 耕作土
- 2層 … 茶褐色土層 (シルト質)
- 3層 … 黒褐色土層 (堅緻)
- 4層 … 黄茶褐色土層 (砂質)
- 5層 … 黒茶褐色土層 (シルト質)
- 6層 … 砂礫層

第4図 南在家遺跡



第5図 南在家遺跡 SB01



第6图 南在家遗址出土土器

(5) 上田原遺跡群

1 調査地	上田市大字上田原字宮本
2 原因	小学校体育館建設
3 調査日	平成13年12月13日
4 調査方法	幅約1mのトレンチを5本入れる
5 調査担当者	尾見智志

遺跡の環境と経過

上田原遺跡群は、上田原集落を中心に広がる広大な遺跡であり、いくつかの地籍にまたがっている。そのため、宮本地籍の部分については宮本遺跡と呼ぶ場合もある。「上田市の原始・古代文化」によると、「石久摩神社周辺、およそ3,000㎡にわたって、後・晩期の土師・須恵器を出土する。」としている。

平成13年10月12日に教育総務課より建替計画のある旨の連絡を受け、現地調査を行ったところ、施工予定地は遺跡の範囲内に含まれることが確認できた。そのため、平成13年12月13日に試掘調査を行ったが、1点の土器が採集されたのみで遺構は確認できなかった。

調査の結果

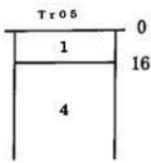
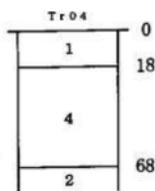
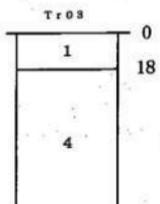
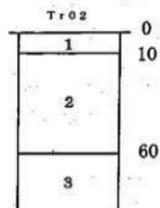
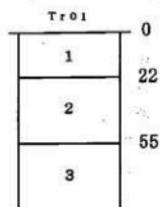
Tr 01から05の5本のトレンチを設定し試掘調査を行った。いずれのトレンチからも遺構は確認できなかった。土層は、耕作土及び溶脱層の直下は地山となっており、水田の造成時で遺跡は破壊されてしまったと考えられる。

主な出土遺物は次のとおりである。

Tr 04 (土師器の破片)



基本土層



- 1層 ... 耕作土
- 2層 ... 溶脱層
- 3層 ... 黄白色土層 (シルト質・砂粒を多く含む)
- 4層 ... 茶灰色土層 (粘性が強い)

第7図 上田原遺跡群

(6) 染屋台条里水田跡遺跡

1 調査地	上田市大字古里字掛ノ宮
2 原因	共同住宅建設
3 調査日	平成13年12月19日
4 調査方法	幅約1mのトレンチを1本入れる
5 調査担当者	尾見智志

遺跡の環境と経過

染屋台条里水田跡遺跡は、上田市の東北部の千曲川と神川とによって形成された河岸段丘上に位置する。上田市の遺跡分布図では台地全体が条里水田跡として括られており、条里水田跡以外の詳細な遺跡分布調査はなされていない。しかしながら、今までにもいくつかの遺跡が試掘調査によって確認されており、台地上の遺跡の状況も解明されつつある。今回も事業主の御協力により試掘調査を行うこととした。

平成13年10月30日に開発事業届による現地立ち会いを行い、当該地区が遺跡の範囲に含まれることを伝えた。試掘調査承諾書を受けて平成13年12月19日には試掘調査を行ったが、遺構・遺物は確認できなかった。

調査の結果

Tr 01を設定し試掘調査を行った。その結果、条里水田の痕跡及びその他の遺構・遺物も確認できなかった。

(7) 染屋台条里水田跡遺跡

1 調査地	上田市大字住吉字宮田
2 原因	共同住宅建設
3 調査日	平成14年2月15日
4 調査方法	幅約1mのトレンチを2本入れる
5 調査担当者	尾見智志

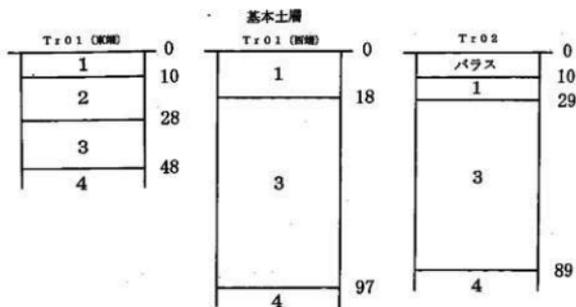
遺跡の環境と経過

染屋台条里水田跡遺跡は、上田市の東北部の千曲川と神川とによって形成された河岸段丘上に位置する。上田市の遺跡分布図では台地全体が条里水田跡として括られており、条里水田跡以外の詳細な遺跡分布調査はなされていない。しかしながら、今までにもいくつかの遺跡が試掘調査によって確認されており、台地上の遺跡の状況も解明されつつある。今回も事業主の御協力により試掘調査を行うこととした。

平成14年1月28日に開発事業届による現地立ち会いを行い、当該地区が遺跡の範囲に含まれることを伝えた。試掘調査承諾書を受けて平成14年2月15日には試掘調査を行ったが、遺構・遺物は確認できなかった。

調査の結果

Tr01とTr02を設定し試掘調査を行った。その結果、条里水田の痕跡及びその他の遺構・遺物も確認できなかった。



- 1層 … 表土 (埋立土)
- 2層 … 黒褐色土層 (シルト質・黄褐色土が混じる)
- 3層 … 黄褐色土層 (粘性が強い)
- 4層 … 明黄褐色土層 (地山・小石が混じる)

第9図 染谷台条里水田跡遺跡 (鈴木ハイツ)

遺物観察表

大目遺跡 (第1回)

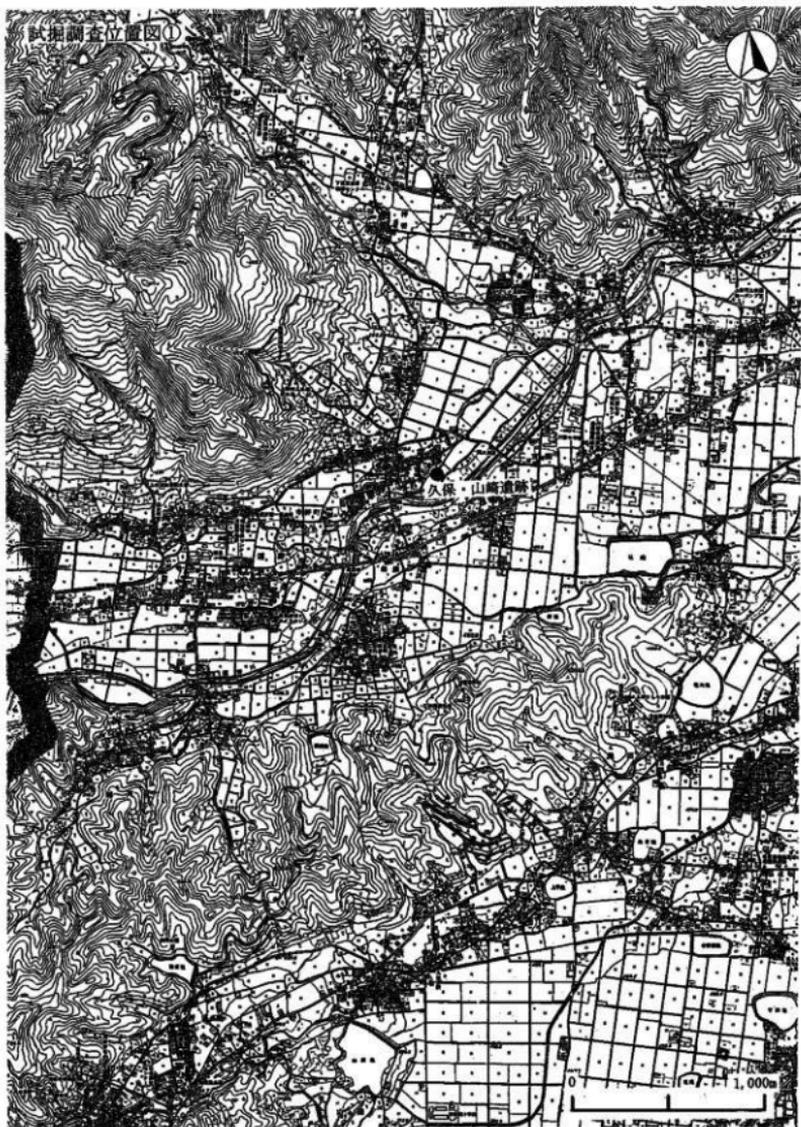
NO.	出土遺跡	A器種 B器形 C文様 D製作技法の特徴	a色調 b胎土 c調成	部位
1	Tr 04	A羽口	a黄褐色 b小石が混じる c良好	1/5
2	Tr 08	A序(土師器) D内面黒色地埋・流部ヘラケズリ	a灰白色 b砂粒が混じる c良好	1/4 (底部)

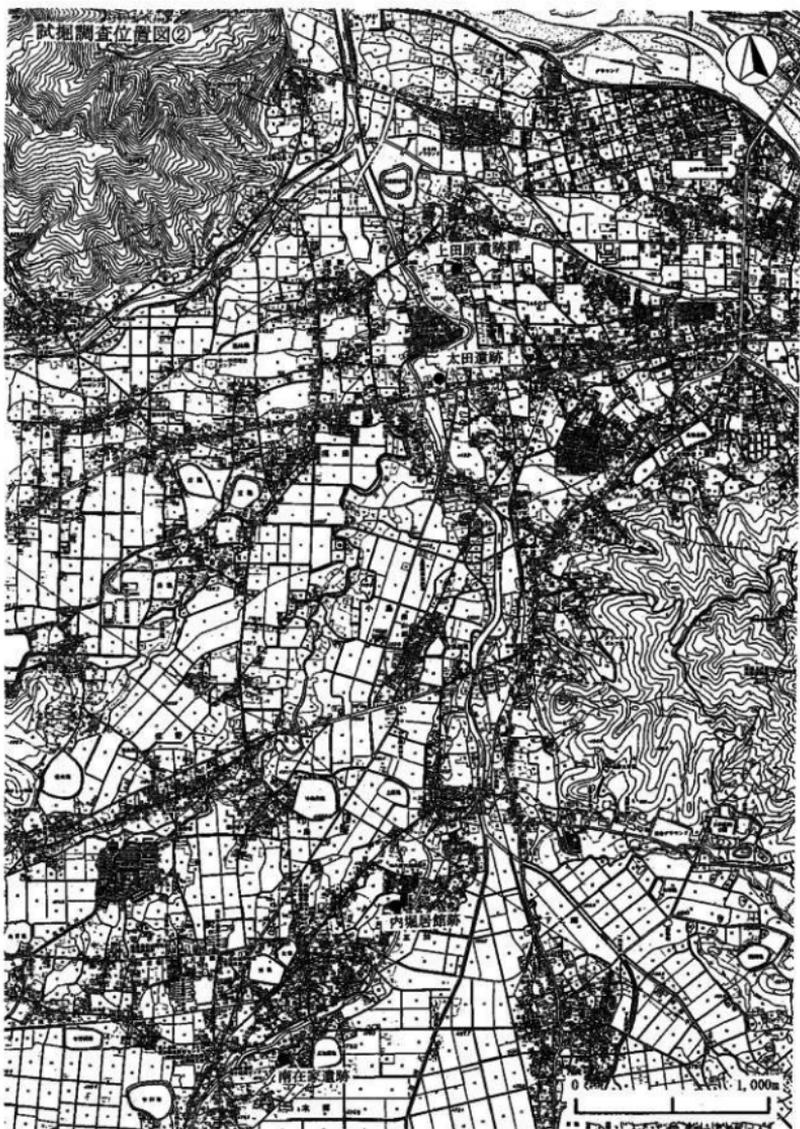
内堀居館跡 (第2回)

1	Tr 04	A長胴壺 D胴部ヘラケズリ	a赤褐色 b砂粒が混じる c良好	1/4 (口縁)
2	Tr 05	A壺	a赤褐色 b砂粒が混じる c良好	1/6 (口縁)
3	Tr 05	A壺 B口縁部に段をもつ	a赤褐色 c良好	1/6 (口縁)
4	Tr 05	A壺	a赤褐色 b砂粒が混じる c良好	1/3 (底部)
5	Tr 05	A壺	a赤褐色 b胎土 c良好	1/3 (口縁)

所在家遺跡 (第6回)

1	SB 01	A序(灰土) D底部回転糸切り	a灰白色 b小石・白色粒子を含む c良好	完形
2	SB 01	A序(灰土) D底部回転糸切り	a灰白色 b小石・白色粒子を含む c良好	1/3
3	SB 01	A序(灰土) D底部回転糸切りの後、高台を付ける	a灰白色 b小石・白色粒子を含む c良好	1/2
4	SB 01	A序(灰土) D底部回転糸切り	a青灰色 bきめが細かい c良好	1/4
5	SB 01	A序(灰土)	a青灰色 b白色粒子を含む c良好	1/2 (口縁)
6	SB 01	A序(灰土)	a灰白色 b小石・白色粒子を含む c良好	1/4 (口縁)
7	SB 01	A序(灰土)	a暗赤褐色 b小石を含む c良好	1/4 (口縁)
8	SB 01	A序(灰土) D底部回転糸切り	a青灰色 b小石・白色粒子を含む c良好	1/3 (底部)
9	SB 01	A序(灰土) C磨面をもつ	a灰白色 b白色粒子を含む c良好	破片
10	SB 01	A序(土師) D流部ヘラ調整	a赤褐色 b小石・白色粒子を含む c良好	完形
11	SB 01	A序(土師) D底部ヘラ調整・内面黒色地埋	aにぶい棕色 b小石・白色粒子を含む c良好	完形
12	SB 01	A序(土師) D底部ヘラケズリ・内面黒色地埋	a赤褐色 b白色粒子を含む c良好	1/4 (口縁)
13	SB 01	A序(土師) D底部回転糸切りの後、ヘラ調整・内面黒色地埋	aにぶい棕色 b砂粒を含む c良好	2/3
14	SB 01	A序(土師) D底部ヘラ調整・内面黒色地埋	aにぶい棕色 b砂粒を含む c良好	1/2 (底部)
15	SB 01	A短耳壺(灰土)	a暗青灰色 b小石を含む c良好	破片
16	SB 01	A壺(土師) D胴部ヘラナデ	a黄褐色 b小石を含む c良好	1/4 (口縁)
17	SB 01	A長胴壺(土師) D底部ヘラ調整	a赤褐色 b砂粒を含む c良好	2/3 (口縁)
18	SB 01	A長胴壺(土師) D胴部ヘラケズリ	a赤褐色 b砂粒を含む c良好	底部
19	トレンチ面	A陶片(陶文) Bキャップ形 C陶文に陶文を施す	a黄褐色 b砂粒を含む cやや不良	1/5 (口縁)







調査報告書抄録

ふりがな	しないいせき			
書名	市内遺跡			
副書名	平成13年度市内遺跡発掘調査			
シリーズ名	上田市文化財調査報告書			
シリーズ番号	第90集			
編著者名	尾見智志			
編集機関	上田市教育委員会			
所在地	〒386-0025 長野県上田市天神二丁目4番74号 Tel.0268(23)5102			
発行年月日	2002年3月25日			
ふりがな 所収遺跡名	コード		試掘・事業 区域面積 (㎡)	調査原因
	市町村	遺跡番号		
おおいせき 太田遺跡	20203	114	4,847	店舗建設
うちばりまよかみかみ 内堀居館跡		448(615)	1,500	市営内堀団地建設
くぼ・やまざきいせき 久保・山崎遺跡		368・436 (556)	2,000	地方特定農道緊急整備事業
あけみづいけいせき 南在家遺跡		206(625)	757	五加35号線建設
うまだはらいせきでん 上田原遺跡群		110(430)	2,500	川辺小学校体育館建設
そめやだいじょうりすいでんいせき 染屋台条里水田遺跡		52	1,357	共同住宅建設 (井出邸)
そめやだいじょうりすいでんいせき 染屋台条里水田遺跡		52	1,644	共同住宅建設 (鈴木ハイツ)

※ 遺跡番号の()内は「上田市の原跡・古代文化」(上田市教育委員会1977年)に記載された遺跡番号である。



太田遺跡



内堀居館跡①



内堀居館跡②



久保・山崎遺跡



南在家遺跡トレンチ



南在家遺跡発掘状況



南在家遺跡 SB01



南在家遺跡 SB01カマド



南在家遺跡 SB01出土土器



上田原遺跡群



染屋台条里水田跡遺跡（井出邸）



染屋台条里水田跡遺跡（鈴木ハイツ）

上田市文化財報告書 第90集

市内遺跡

平成13年度市内遺跡発掘調査報告書

発行 平成14年3月25日

発行者 上 田 市

上田市教育委員会

印刷 ㈱アオヤギ印刷

